

2019 年度実施概要

教育委員会名

新居浜市教育委員会

採択活動名

海の恵みで発展してきたふるさとを学ぶ～多喜浜塩田を未来に伝えよう～

取り組みの概要

【活動のねらい】

愛媛県新居浜市は、瀬戸内海に面した四国有数の工業都市であるが、市東部の多喜浜地域は、江戸時代より沿岸を活用して広く塩田事業が展開され、昭和半ばまで主要産業のひとつとして新居浜を支えてきた歴史があり、まさに海の恵みによって支えられてきた地域と言える。

また、市内すべての小中学校でE S D（持続可能な開発のための教育）に取り組んでおり、防災・環境・福祉など、様々な形でE S D活動を展開している。本市では、基本的には多喜浜の塩田学習を事業の核として、歴史的意義、自然環境保護等の観点からも重要な財産である塩田と資源である海洋について学ぶことで、海や塩田に親しみ、ふるさと新居浜に関する知識や理解を深め、海洋がもつ恩恵を感じ、未来の海や環境を守る気持ちを育て、さらにSDG sの達成にも資する教育活動を展開していく。

【主な事業概要】

1. 全体会として、新居浜市海洋教育推進協議会（新型コロナウイルス感染症対策のため書面審議に変更）を開催した。会議では、各校の海洋教育に関する取組について共有を図り、次年度の計画について検討を行った。その他、実施に当たり学校・地域・関係団体との打合せを重ね、本市の海洋教育の取組や内容等について詳細な打合せを行った。
2. 教育課程特例校として、新居浜市立多喜浜小学校が申請を行い、認定を受けた。次年度より新たな教科として、「海っこタイム」を展開し、体系的な海洋教育を実践する。児童が学んだことを他の児童に伝える活動、塩田に関係がある他地域との交流学习など、海を通じてつながってきた文化や交流などの学習活動を展開する。
3. 教職員向けに海洋教育を学ぶことの意義や学び方について研修会を実施した。
4. SDG s 17項目をテーマとした公募型美術展「SDG sアートフェスティバル」を開催し、市内の小中学校をはじめ全国から約4千点もの作品が集まった。特に、目標14の「海の豊かさを守る」では、海の豊かさや海洋環境を守ることなど作品を通して学ぶことができた。



活動参加校名 ※参加した学校の数に応じて記載してください

1. 新居浜市立多喜浜小学校
2. 新居浜市立惣開小学校
3. 新居浜市立泉川中学校
4. ほか、市内市立13小学校（新居浜小学校、宮西小学校、金子小学校、金栄小学校、高津小学校、浮島小学校、垣生小学校、神郷小学校、泉川小学校、船木小学校、中萩小学校、大生院小学校、角野小学校）